

出幅移動桁A 2.5間通し桁

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 本製品はJテラスF・R・Hタイプ 間口2.5間通し桁・3～6尺に設定したものです。他の製品には取付けられませんのでご注意ください。
- 本取付説明書では、JテラスFタイプをFタイプ、JテラスRタイプをRタイプ、JテラスHタイプをHタイプと表記します。
- テラスは簡易型屋根です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 取付けに際しては、テラス本体の取付説明書(E100)を合わせてお読みください。
- 施工終了後、取付説明書は取扱説明書といっしょに施主様にお渡しください。

<施工の前に>

■設置場所の確認

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 施工場所の気象条件(風雪など)に合った商品かどうか確認してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道などなどの施工は避けてください。

■梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

■組立て、施工途中では

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能を低下させる場合があります。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■基礎工事について

- 基礎寸法は、取付説明書の通りの寸法としてください。地盤の種類によっては、倒壊の危険性が発生します。
- 基礎コンクリートには、塩分を含む砂、および塩素系のモルタル混和剤を使用しないでください。

■製品の改造は絶対にしないでください。

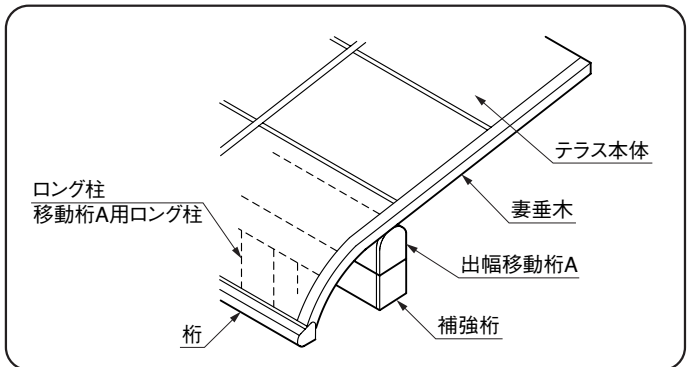
■施工完了後は

- ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中の汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗装をしてください。

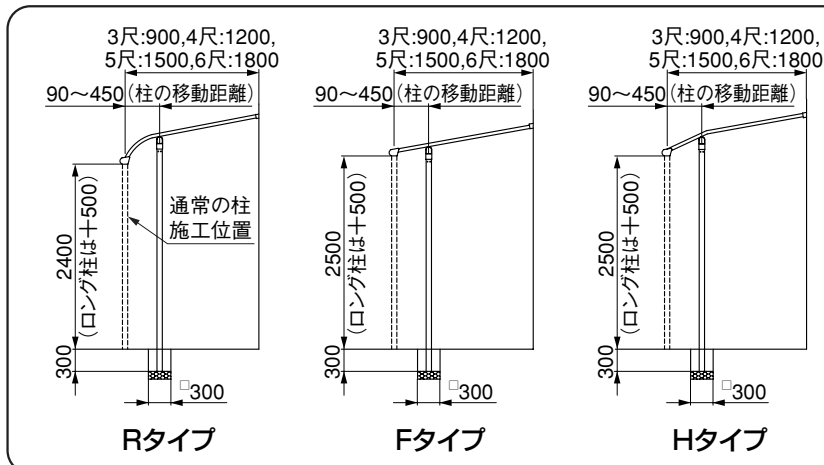
■梱包明細書

名 称	員 数	
	基本2.5間	連棟2.5間
出幅移動桁A	1	1
出幅移動桁A用スリーブ	—	1
垂木・桁組付金具	6	6
垂木ライナー	6	5
移動桁Aキャップ	2	—
垂木ライナー取付ネジ φ4×25ピラスネジ	10	10
垂木・桁組付金具組付ネジ φ4×13ピラスネジ	12	12
移動桁Aキャップ取付ネジ φ4×13ピラスネジ	4	—
スリーブ取付ネジ φ4×13ピラスネジ	—	4
取付説明書	1	—

1. 各部の名称



2. 基本寸法図



- ① 使用する柱は、テラスの桁が標準の施工高さの場合(桁下2400,もしくは2500)はロング柱を、ロング柱の桁高で施工する場合(桁下2900,もしくは3000)は移動桁用ロング柱を使用してください。
- ② 柱の切断寸法は次ページをご覧ください。

<注 意>

- 柱のレベルシールは、関係ありませんのでご注意ください。
- 柱の施工位置等は基本の取付説明書をご覧ください。

2. つづき

標準の桁下寸法 (Rタイプ2400mm, F・Hタイプ2500mm) 施工時の柱必要長さ

柱の移動距離	柱必要長さ		
	Fタイプ	Rタイプ	Hタイプ
90	2670	2625	2689
100	2672	2642	2694
120	2675	2674	2703
140	2679	2701	2713
160	2682	2724	2722
180	2686	2745	2731
200	2689	2763	2741
220	2693	2779	2750
240	2696	2794	2759
260	2700	2806	2769
280	2703	2818	2778
300	2707	2828	2787
320	2710	2837	2797
340	2714	2845	2806
360	2717	2851	2815
380	2721	2857	2825
400	2724	2865	2834
420	2728	2866	2843
440	2731	2869	2853
450	2733	2871	2857

③ 柱を左表の通り、必要な長さに切断してください。

<注 意>

- 左表は、標準の桁下寸法 (Rタイプ2400mm, F・Hタイプ2500mm) 施工時の柱必要長さです。桁下寸法を変える場合は、左表を参考に長さを調整してください。
- ロング柱仕様 (桁下寸法: Rタイプ2900mm, F・Hタイプ3000mm) は、左表数値+500mmを基準としてください。
- 表にない移動距離寸法は、その前後数値より算出してください。
(例) Fタイプ柱の移動距離150mmの場合
移動距離140mm…2679mm } 2679mmと26
移動距離150mm…?mm } → 82mmの中間
移動距離160mm…2682mm } で2680.5mm
- 柱切断後、必ずアンカー棒取付孔を加工し取付けてください。

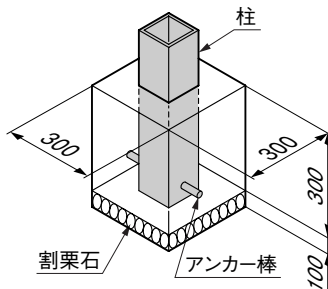
3. 規格表

名 称		2.5間	5.0間
ロング柱 (出幅移動桁A用ロング柱)	1本入	—	1
	2本入	1	1
桁セット	2.5間	1	1
連棟用桁セット	2.5間	—	1
垂木セット	2本入	2	4
	妻垂木セット	2本入	1
屋根材セット	3本入	—	1
	2枚入	1	2
出幅移動桁A	3枚入	1	2
	2.5間	1	1
連棟用出幅移動桁A	2.5間	—	1

<注 意>

- 連棟する場合は基本のテラス同様左側を基本桁とし、左側へ連棟してください。連棟部の柱は桁連棟部に設置してください。

4. 基礎施工



- ① ロング柱, 出幅移動桁A用ロング柱を目的の位置に施工してください。
- ② コンクリート施工は骨組完了後に行ない、硬化後屋根材を組込んでください。
- ③ アンカー棒は必ず施工してください。

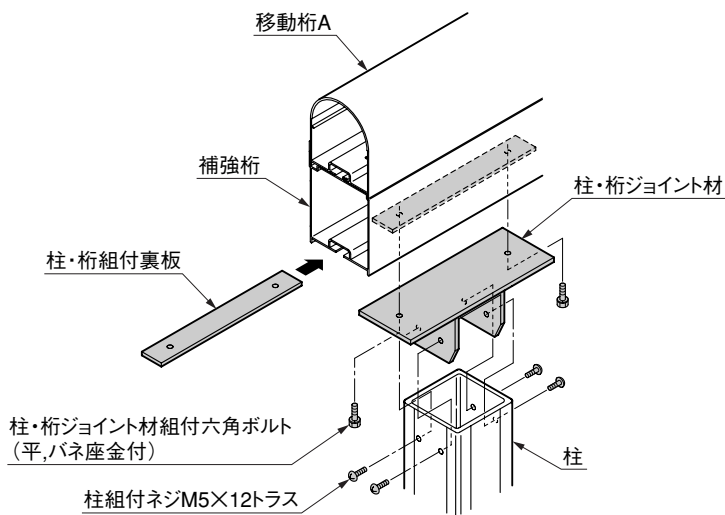
5. 垂木掛けの取付け

別冊のテラス本体の取付説明書をご覧ください。

6. 補強桁の取付け

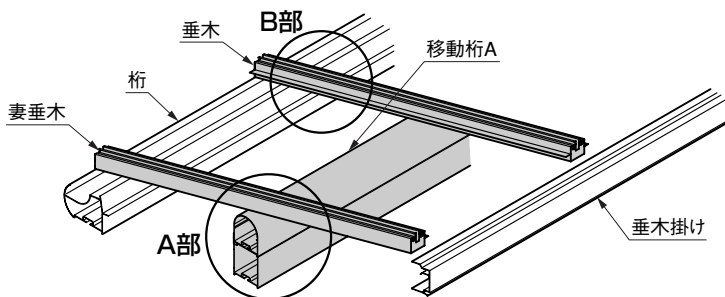
別冊のテラス本体の取付説明書をご覧ください。

7. 柱と移動桁の組付け

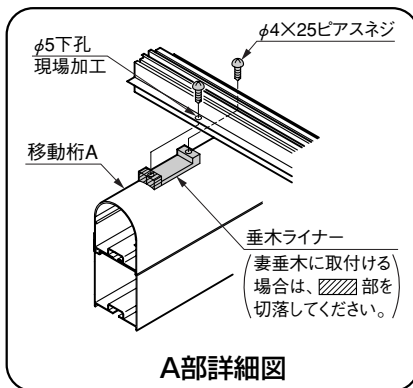


- ① 柱と移動桁A, 補強桁を左図のように柱・桁ジョイント材で組付けてください。

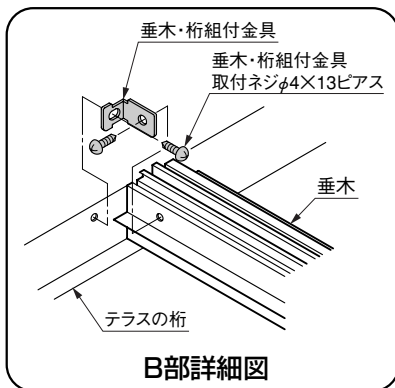
8. 移動桁Aと垂木・妻垂木の組付け



- ① 基本の取付説明書にしたがって、垂木掛けに垂木を取付けてください。このとき、出幅移動桁に垂木を仮置きしてください。



A部詳細図



B部詳細図

- ② 垂木・妻垂木の下面に垂木ライナーを挿入し、垂木・妻垂木と移動桁をφ4×25ピասネジで固定してください。妻垂木に取付ける垂木ライナーは、端部をカットして取付けてください。(A部詳細図参照)
- ③ 基本の取付説明書にしたがって、テラスの桁を垂木に取付けてください。
- ④ 垂木・桁組付金具を使って、垂木と桁を固定してください。(B部詳細図参照) 金具の取付位置は、図8-1をご参照ください。

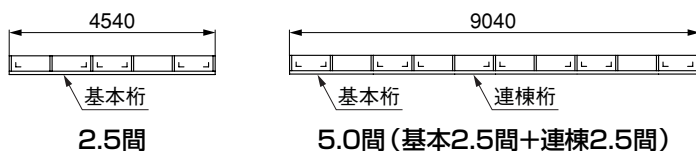
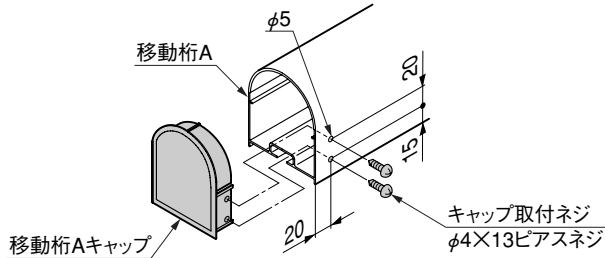


図8-1 (垂木・桁組付金具取付位置)

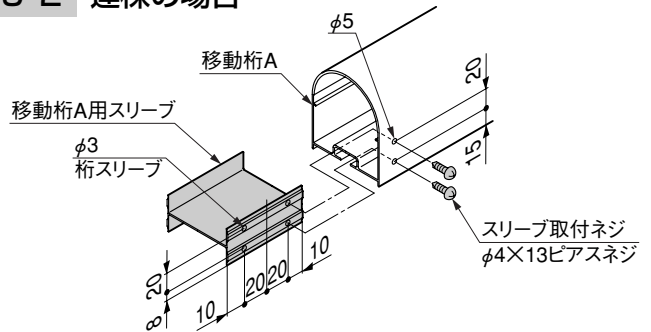
9. 移動柵Aキャップおよび連棟の取付け

9-1 移動柵Aキャップの取付け



- ① 移動柵の端部に上図の孔加工を行なってください。
- ② 移動柵Aキャップを挿入し、キャップ取付ネジで固定してください。

9-2 連棟の場合



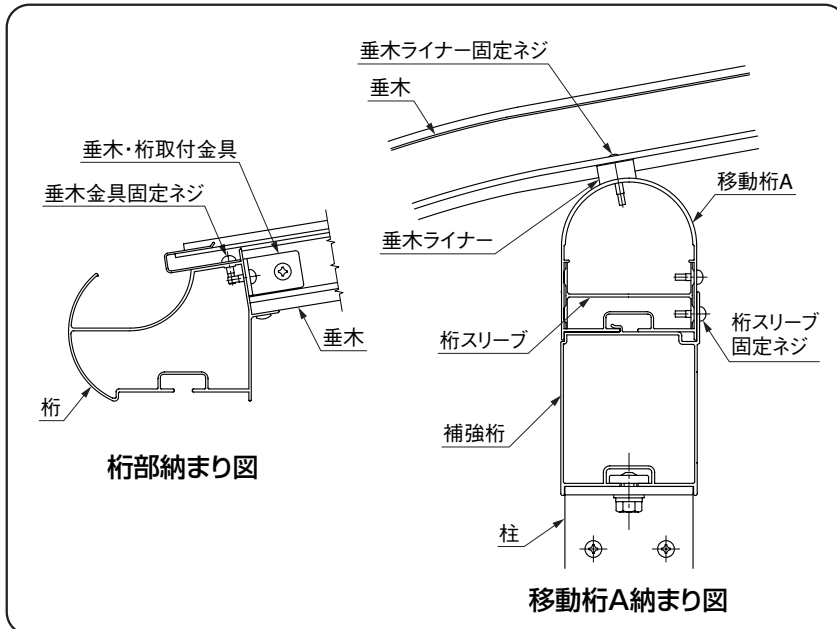
- ① 移動柵の端部に上図の孔加工を行なってください。
- ② 移動柵A用スリーブにも、上図のように孔加工を行なってください。
- ③ スリーブ取付ネジで固定してください。

<注意>

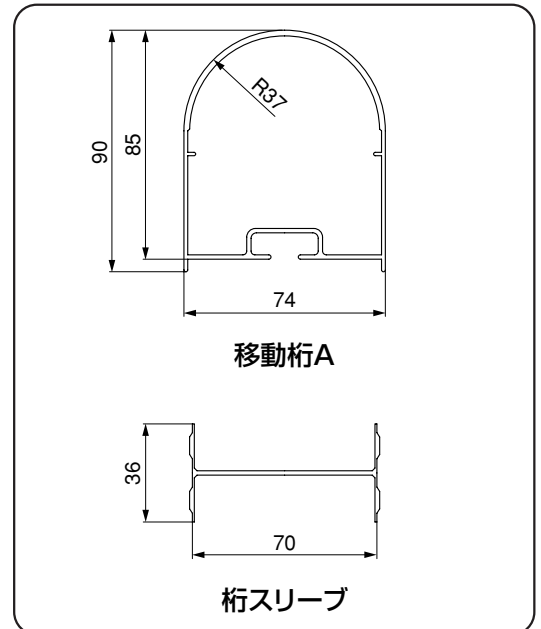
- 補強柵の連結は、別冊のテラス本体の取付説明書をご覧ください。

※以降の組付けは、別冊のテラス本体の取付説明書をご覧ください。

部材納まり図



部材断面図



工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は、水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。また、汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち、洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

E099

200008A